

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

令和6年度 事業計画

事業方針

令和6年度 テーマ

観光新ステージ～オールいわきでチャレンジ～

令和5年は、新型コロナウイルス関連の様々な行動制限が解除され、行事やイベントがコロナ前の形で実施されるようになり、観光需要は着実な回復傾向にあったが、継続した世界情勢の不安定などから原料高や物価高が続き、観光産業を取り巻く環境は厳しい状態であった。

そのような中、ALPS 処理水の海洋放出による水産物等への影響、風評が懸念されたが、「買って、食べて応援」する機運が高まり、需要に対して供給が追い付かない状況も発生した。

また、高付加価値のコンテンツ造成のため、「いわき名物ガイド」による「まちあるき」を進めるとともに、昨シーズン J2 リーグに昇格したいわき FC を起爆剤にし、サイクリング等も含めたスポーツによる観光交流人口の拡大にも取り組んでいる。

そして、福島空港と台湾を結ぶ定期チャーター便の継続運行を契機に、さらなるインバウンドの強化を図るため、国や県と連携した営業活動なども行っている。

本年は、これまでの事業の検証を踏まえ、新たに策定する「いわき市観光まちづくりビジョン」に掲げる「観光の力でいわきを豊かに～地域が一丸となって取り組む観光まちづくりへ～」の実現に向かって、3つの基本戦略に基づき、各種事業に取り組む。

- ・基本戦略Ⅰは、的確なターゲティングの積極的なプロモーション
- ・基本戦略Ⅱは、旅行商品の造成による観光誘客
- ・基本戦略Ⅲは、いわきの製品の魅力を推進

以上の取組については、テーマのとおり、新ビジョンによる新たな観光ステージにおいて、会員事業者や地域との連携により、各事業部会を中心に事業を推進し、コロナ禍前、さらには東日本大震災前までの水準に回復するよう取り組んでいく。

また、いわき市石炭・化石館の再開により、観光周遊を加速させ、一層の観光交流人口の拡大を目指す。

I 公益事業

1 いわき市石炭・化石館の管理運営／企画展・イベントの開催による誘客事業

【公益事業：13,000千円・管理運営委託事業：84,931円】

【ビジョン：Ⅱ-5 自然・歴史・文化・芸術の活用】

本市固有の資源である「化石」と「炭鉱」をはじめとした本市の自然・地質・産業遺産の継承に資するため、いわき市石炭・化石館ほるるの管理運営を行うとともに、常磐炭田史研究会やいわきヘリテージ・ツーリズム協議会、地元各種団体などとの連携を図り、あらゆる機会を活用し、継続した情報発信と出前講座や誘客イベントを開催し誘客に努める。

地震被害、老朽化に伴い竪坑櫓を解体することとなり、工事中は休館であったが、工事の進捗に伴う施設の利用制限などにより、4月25日にプレオープン、11月にグランドオープンの想定とする。

また、いわき市石炭・化石館は開館40年、一部リニューアルオープン後14年が経つことからリニューアルに向け、時代に沿った展示等を検討していく。

(1) プレオープン

竪坑櫓が撤去されたことから、GW前にプレオープンとした。

- ① 日程：令和6年4月25日(木)
- ② 再開記念イベント

観光庁補助金を活用し、音と映像、なぞとき要素も加えた館内イベント「ほるるクエスト」をGW期間中、夜間特別開館し開催した。

③ 【新規事業】定期講座・ミニ企画展

鹿島ショッピングセンターエブリアで実施していた学芸員によるミニ講座とミニ企画展のほか、新企画としてバックヤードツアーを定期的実施する。

(2) グランドオープンについて

工事の竣工予定である令和6年10月末をもって全施設・敷地が使用可能となるため、次の内容でグランドオープンとする。

① 日程案：令和6年11月1日(金) ※工事の進捗状況による

② 再開記念企画展

昭和59年(1984年)10月18日のオープンから40年を迎えることから、グランドオープンの記念企画展等を冠事業として展開し、来館者増に繋げる。

③ 記念講演会

40周年記念として、自然史系の著名人による講演会を開催する。

II 地域活性化事業（その他事業）

1 地域・情報戦略部会【12,906千円】

重点事業：「インバウンド向け情報発信の強化」

(1) デジタルプロモーション事業

【ビジョン：I-3インバウンドに対応した情報の発信】

これまで蓄積してきたデータを活用し、的確なターゲティングでデジタル広告を利用し誘客を図る。

① 国内でのデジタル広告の継続と国外展開

② ターゲット（地域や年齢、性別など）に合わせ、YouTubeやInstagramなどSNSを活用したデジタルプロモーションの強化

(2) デジタルマーケティング事業【専門事業者(株)movとの継続した連携】

【ビジョン：I-1デジタルマーケティングによる事業ごとのターゲット設定】

継続した情報の収集により、動向の分析によるターゲットの設定やターゲットの開拓を実施する。

① ビューローが運営するHPやSNSなど（オウンドメディア）の活用と分析

② Googleビジネスプロフィールの推進による継続した会員情報の整備と外国語口コミの分析

③ ECサイトの活用と分析

(3) キービジュアル作成事業

【ビジョン：I-4多様な媒体を活用した情報の発信】

観光誘客や受入サービスのための観光パンフレットやポスター、観光PR動画を作成する。また、多言語による観光パンフレットも整備する。

① 紙媒体であるパンフレット・ポスターなどによる情報発信

パロメータ付きQRコードなどにより紙媒体からWebへの流入の計測

② 国外展開も見据えた観光PR動画作成

③ 多言語パンフレットの作成

(4) ビッグデータなど各デジタルデータを活用した継続した訪問客動向調査事業

【ビジョン：I-2地域と連携した観光・物産情報の収集と効果的な発信】

ビッグデータを活用し、動向調査と各種データを収集する。また、収集した情報を共有し、各事業に反映させる。

- ① 楽天と連携した宿泊状況や属性の調査
- ② 【新規事業】東北観光推進機構と連携した東北観光 DMP（データマネジメントプラットフォーム）による消費購買分析などの調査
- ③ 各調査結果の各部会での共有による各事業への反映

2 観光・誘客推進部会【1,362千円】

重点事業：「インバウンド向けプロモーションの強化」

(1) 東北観光推進機構や県と連携したインバウンド(台湾・タイなど)に向けた営業活動

【ビジョン：Ⅱ-4 インバウンド誘客の推進】

「いわき」の知名度向上のため、情報発信と合わせてプロモーション活動を実施する。

- ① 県や地元関係団体と連携し、福島空港の台湾チャーター便運行等を契機とした現地旅行博への参加や現地旅行会社への営業活動の実施
- ② 【新規事業】「いわきならでは」の商品の提案
- ③ 東北観光推進機構が運営する東北観光サイト「Base! TOHOKU」との連携によるいわき湯本温泉郷を中心とした連泊プランの造成
- ④ 観光庁補助事業「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業」を活用した外部専門人材の登用によるインバウンドに関するデータの分析とそれに基づく戦略の策定

(2) テーマ別観光推進事業（ガイド付ツアー造成）

【ビジョン：Ⅱ-1 テーマ別観光の造成と推進】

いわきの素材として、まちあるき・登山・産業遺産などを関係団体と連携し、十分な周知期間と周知方法の工夫によってツアーを通して認知度向上を図る。また、サイクルなど新たな素材の発掘にも取り組む。

- ① いわき名物ガイドの活用によるツアーの実施（神社仏閣、自然散策、震災など）
- ② 地元山岳会との連携による登山を中心としたアウトドアツアーの実施
- ③ いわきヘリテージ・ツーリズム協議会と連携した産業遺産ツアーの実施
- ④ 地域団体や関係施設・団体と連携したツアープランの造成

(3) スポーツを通じた観光交流人口の拡大

【ビジョン：Ⅱ-2 広域連携を積極的に活用した仕掛けの構築】

スポーツをきっかけに、滞在や周遊の促進を図るため、プロモーションや各種プランを提案する。

- ① いわきFCとの連携（フラ・温泉効能のPR）による滞在・周遊促進
- ② 【新規事業】全国高校総合体育大会（インターハイ）男子サッカー競技の開催に伴う事前合宿の誘致や観光サイト特設ページへの掲載による観客への周遊・滞在プラン、観光情報の提供
- ③ ナショナルサイクルルートやうつくしま浜街道トレイルの設定に伴う周遊プランや観光情報の提供

(4) 県と連携したコンベンション・教育旅行誘致活動の実施

【ビジョン：Ⅱ-3 教育旅行・合宿、MICE の誘致】

- ① 補助金の活用による誘致促進
- ② 県・地域（施設など）と連携した「ホープツーリズム」などの営業活動

(5) その他必要な営業活動等（プロモーション）

【ビジョン：Ⅱ-4 インバウンド誘客の推進】

- ① 福島空港就航先拡大に伴う就航先での営業活動
- ② クルーズ船誘致に係る市内周遊プランの提案
- ③ 令和8年度に開催される福島DCを見据えた観光コンテンツ・商品の造成

3 地域・物産振興部会【15,123千円】

重点：「EC サイト：いわきの逸品の販売強化」

(1) EC事業の強化とリアル催事でのPR拡大

【ビジョン：Ⅲ-2販路拡大のためのイベントやキャンペーンへの参加】

コロナ禍よりECサイト需要が飛躍的に伸びており、更なるサイトの充実を図る。

- ① ユーザーの使いやすさ、購入の利便性の改善による購買強化
- ② 商品を活用したレシピ動画によるPR強化
- ③ ECサイト強化のためのサイトと連動したデジタル広告(ショッピング広告)の活用

(2) 物産プロモーションによる販売促進事業

【ビジョン：Ⅲ-3食文化のブラッシュアップとプロモーション】

ギフト商品(お中元・お歳暮)の造成や市内外での各種物産展を通じた販売促進に努める。

- ① 夏・冬ギフト商品の販売強化
- ② 首都圏を中心としたリアル催事での地場産品PR強化
- ③ いわき大物産開催による地場産品PR強化

(3) 誘客に結び付く体験プログラムや商品開発

【ビジョン：Ⅲ-1産学官・農商工連携による新たな商品の造成や地域産品の活用】

インバウンドを見据えた商品を活用した魅力的な体験プログラムを造成し、市外・海外からの誘客を目指す。

- ① 食や産品をテーマとした体験プログラムの造成
- ② 【新規事業】いわき商工会議所との連携のもと、特産品や観光土産品として市民や観光客に選ばれる商品を発掘・育成し、成功者を作る支援を行う。
- ③ 定期的開催されている市内朝市の情報収集と発信

4 受託事業

ビジョンに掲げるそれぞれの目標を達成するため、当ビューローがその専門性に基つき事業を推進する。

(1) 観光誘客促進事業(いわき市総合観光案内所運営・海開き式典開催・いわきおどり運営)

【ビジョン：Ⅰ-5観光案内所機能の充実】【ビジョン：Ⅱ-5自然・歴史・文化・芸術の活用】【ビジョン：Ⅱ-6地域の祭り・イベントの活用】

市観光振興課：21,480千円【観光・誘客推進部会】

(2) フィルム・コミッション推進事業業務

【ビジョン：Ⅱ-5自然・歴史・文化・芸術の活用】

市観光振興課：2,833千円【観光・誘客推進部会】

(3) 教育旅行・コンベンションプロモーション事業

【ビジョン：Ⅱ-3教育旅行・合宿、MICEの誘致】

市観光振興課：1,848千円【観光・誘客推進部会】

(4) いわき産水産物魅力アップ事業『「常磐もの」認知度向上及び販売促進業務』

【ビジョン：Ⅲ-3食文化のブラッシュアップとプロモーション】

市水産課：22,419千円【地域・物産振興部会】

- (5) いわき市木づかい住宅ポイント事業交換商品取扱等業務
【ビジョン：Ⅲ-2 販路拡大のためのイベントやキャンペーンへの参加】
市林務課：13,263 千円【地域・物産振興部会】
- (6) 合宿による若者の交流人口拡大・地域振興事業（フラ合宿）業務
【ビジョン：Ⅱ-3 教育旅行・合宿、MICE の誘致】
県いわき地方振興局：4,175 千円【観光・誘客推進部会】
- (7) その他、年度内の新規事業

5 補助事業

- (1) いわき市コンベンション補助金
- (2) いわき市教育旅行補助金
- (3) 観光庁 令和6年度「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業」
- (4) その他（国や県）

6 他団体との連携

- (1) いわき観光共同キャンペーン実行委員会
- (2) いわきフィルム・コミッション協議会
- (3) 行政機関や公的機関との連携
国（国土交通省観光庁）や県（観光交流局やいわき地方振興局）、（一社）東北観光推進機構や（公財）福島県観光物産交流協会等の関係機関との連携により、財源の確保やスケールメリットを活かすなど、効率的かつ効果的な事業展開を図る。